



ダイバーシティ就労モデル事業 千葉県の特徴について

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば
事務局長 鈴木由美

(1) 実績

- 登録事業者数 120事業所
- 新規登録者 65名
(問い合わせ含めると104名)
- 職場見学 74名 (累計)
- 就労体験 44名 (累計)
- 就労開始 38名 (累計)
- 終結 13名



令和4年度働きづらさを抱える人を対象にした
就労支援モデル事業（日本財団助成事業・千葉県補助事業）
運営：NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば

9月開始！ WORK! DIVERSITY ダイバーシティ就労 モデル事業inちば

様々な働きづらさを抱える人たちが
障害福祉サービスの就労支援事業所や一般企業にて
実際に働いたり、仕事に向けた訓練を行う事業です
※障害者手帳を取得していない方が対象です



実施期間：令和4年9月～令和5年3月末

実施場所：A型事業所、B型事業所、就労移行支援事業所、一般企業
本人の希望に合わせて検討します

利用人数：年間50名程度を想定しています

■□支援メニューの一つとしてご検討ください■□

事業利用終了後の就労支援については
引き続き各支援機関にてお願いいたします
「こういうケースは利用できる？」「ぜひ相談したい方がいる」等
お気軽にお問い合わせを！

働くための一歩を一緒に応援しましょう！



NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば（ダイバーシティ就労担当）

〒262-0033

千葉県千葉市花見川区幕張本郷2-5-1 タカソープラザ405

TEL/FAX 043-372-9790 (9:00~17:00)

E-mail dw@uwnchiba.net

URL <http://uwnchiba.net/>

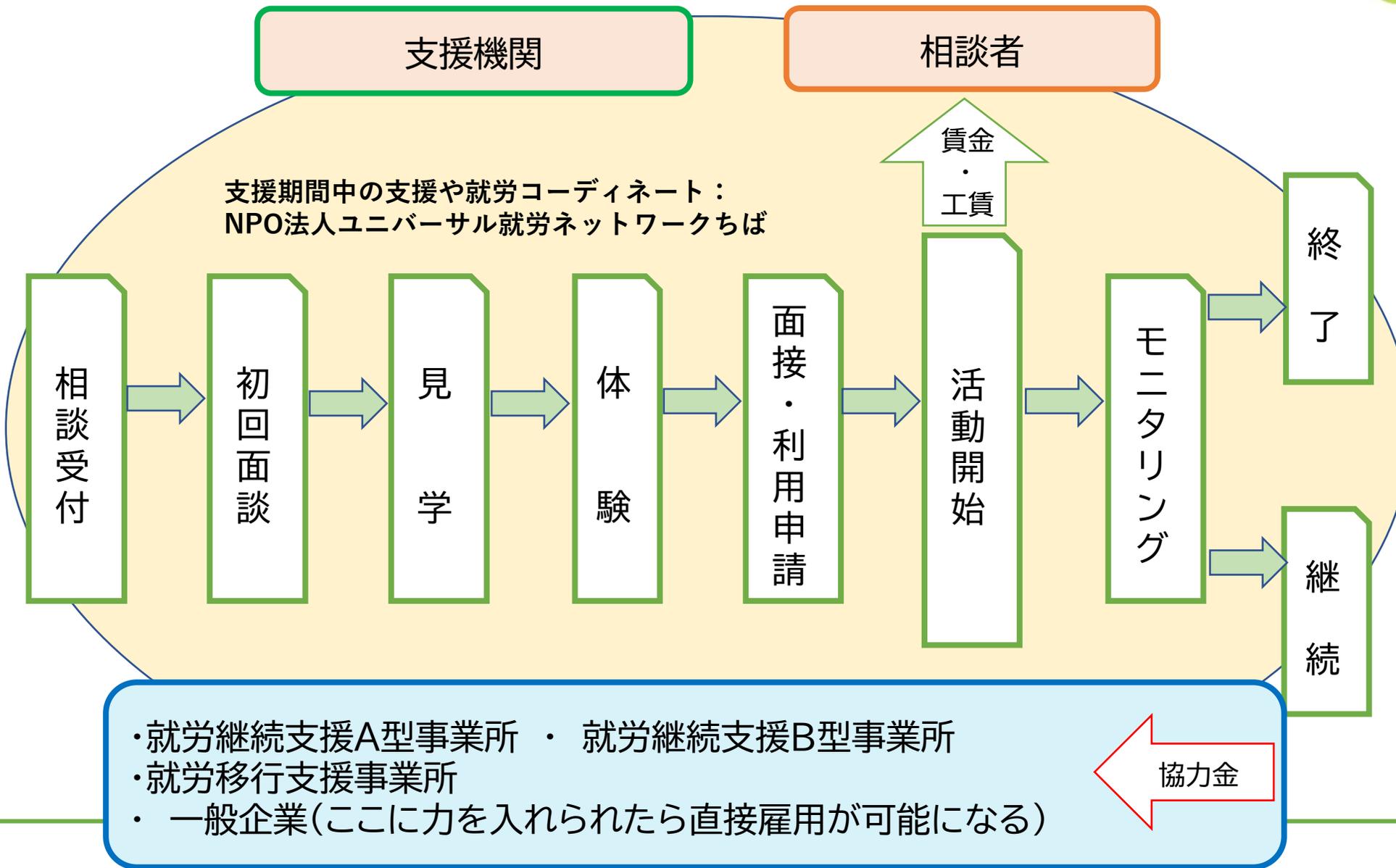
担当/及川・嶺

担当不在の場合は留守番メッセージもしくはメールをお願いいたします。折り返しご連絡いたします

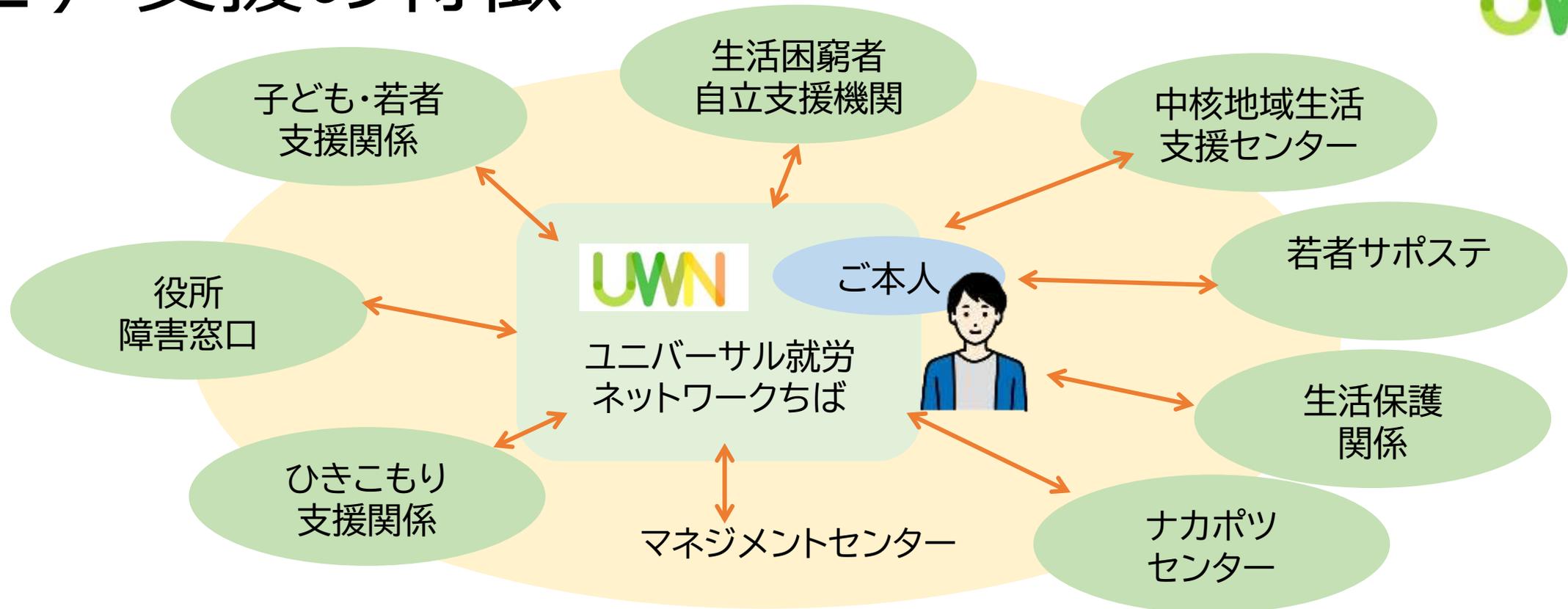
お問い合わせ



(2)事業のイメージ図



(2) 支援の特徴



- 千葉県福祉ネットワークが発達していることや、制度の狭間問題が共有された状態でスタートしている
- マネジメントセンターと伴走支援を実施する総合相談窓口(もしくは、紹介元の支援機関)でチームを編成して、多職種連携で支援を実施…特に伴走支援を理念とする、生活困窮者支援制度との相性は良い
- 紹介して、されるではなく、立体的な支援を展開(生活・就労等含めて)し、本人が安定して就労できるように連携を取る
- 当事者や支援者が「障害福祉サービス」を利用することの抵抗がほぼない

宣伝：3月10日（金）15～17 実践報告会@千葉県教育会館



- 千葉の現場の報告以外にも岐阜市、福岡県の実践者の方にも登壇いただき、現場からの発信の場です！
- ぜひ会場にお越しください！

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばのホームページやFacebookご覧ください。

参加費無料
先着**100**名様
(事前予約制)

[日時] ▶▶▶ 3月10日(金) 15:00～17:00

[会場] ▶▶▶ 千葉県教育会館 会議室501

(千葉市中央区中央4-13-10)

千葉中央駅より徒歩10分

